

被災親子と再会 静岡から能登訪問

ゲームで交流

能登半島地震の被災地支援として行われた静岡県へのバスツアーに参加した能登の親子と再会したいと、静岡の高校生やボランティア16人が22、23日、珠洲市と能登町を訪れ、両市町の親子約140人と交流の継続を確認し合った。写真。ツアーはグラウンドワー



ク三島(静岡県三島市)の渡辺豊博専務理事(75)が宇出津小OBであることが縁

で、昨年3月、今年10月に計7回実施した。延べ281人の児童と保護者を三島市や富士山周辺に招いた。交流会はラポルトすとコンセールのとで開かれ、参加者がバレーンアートやゲームなどを楽しんだ。都留文科大教授などを務めた渡辺専務理事は「来年7、9月にも能登発のツアーを行い、珠洲、能登に加え、輪島でもバスに乗降できるよつにしたい」と話した。